

厚木 J C ネクストビジョン (抄)

1. 各団体とのパートナーシップの強化 (友情)

今後も厚木 J C は、地域のあらゆる団体とより緊密に手を携え、この地域における問題点などを発見、そして解決していくことを目指します。

たとえば、災害等の発生に関する情報について、その発信拠点となりうる行政機関等と固く連携をし、より正確かつタイムリーに共有する仕組みの構築が必要です。また、青少年がより大きな夢を抱き、将来この地域を支える人財としてその夢を実現させられるように、その親や自治体等と連携して応援することなどが挙げられます。

厚木 J C は、今まで以上に各団体との連携を重視し、パートナーシップを構築して、その中心となって牽引し、地域の問題解決に取り組んでまいります。

2. 社会起業家の育成 (修練)

よく J C は「社会人の学び舎である」という表現をされることがあります。しかし、本来の J C は青年の成長の場というだけではないの言うまでもありません。青年がまちづくりのプロフェッショナルとして、地域のリーダーとして行動することが、社会人としての学びに繋がっているわけです。

我々は、この厚木 J C に入会した者が、まちづくり活動のプロフェッショナルになるだけでなく、ビジネスの面においても、社会起業家として一流の青年経済人へ成長することも目標といたします。

このまちに必要なことを常に実践しながら、なおかつ、自らのビジネスにおいても一流となるため、青年会議所活動を通じて自己研鑽に励む機会を提供して参ります。

3. SDG s インフルエンサーの確立 (奉仕)

地球規模や地域レベルでの社会不和や環境不和により、このままでは社会や地域が持続していかないおそれがあります。

地域社会を持続可能なより良いものにすることで、地域経済や地球環境など様々な社会問題が解決され、地域に人・物・金・情報が集まり、明るく豊かな社会が実現されるはずです。

ゆえに、持続可能な社会を実現するための手法を考え続ける団体、そして実行する団体が社会から必要とされているのです。

そして、これこそ、我々 J C の使命であり、かつ、我々 J C が常に考え、常に活動してきた事柄なのではないでしょうか。

我々厚木 J C は、今後、持続可能な社会を達成するため、SDG s の考え方に賛同し、どの団体よりも、SDG s によって地域が変革するきっかけを創出する、影響力のある団体となることを目指します。